

平成 28 年度 第 1 回 SPring-8 ユーザー協同体評議員会 議事録

日時：平成 28 年 4 月 11 日（月）15 時 00 分-16 時 30 分

場所：SPring-8 中央管理棟 上坪講堂（兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1）

出席者：中川敦史(会長)、今泉公夫、片山芳則、小原真司、高原淳、巽修平、宝野和博(テレビ会議)、足立伸一、雨宮慶幸(テレビ会議)、和泉篤士、岡島敏浩、尾嶋正治、河瀬和雅、北川進(テレビ会議)、坂田修身、瀬戸秀紀、堂前和彦、水木純一郎、宮崎司、村上洋一(テレビ会議)

幹事/ 松井純爾、杉本宏、高尾正敏、久保田佳基、佐々木園、西堀麻衣子(テレビ会議)、加藤健一、西堀英治(テレビ会議)、若林裕助、木村昭夫、田中義人

利用委員会/ 有馬孝尚(テレビ会議：利用委員会委員長)、原田慈久

オブザーバー/ 山川晃、櫻井吉晴、鈴木昌世、木下豊彦

事務局/ 坂川琢磨

1. 新旧会長挨拶

高原前会長、および中川新会長より挨拶があった。

2. 平成 28 年度評議員等紹介（杉本庶務幹事）

当該年度の評議員が紹介された。つづいて各幹事が紹介され、承認された。（産業界の広報・渉外幹事に関しては検討中。）また、機関代表者名簿、および利用委員会名簿案（一部更新箇所あり）の提示と、利用委員会委員の紹介があり、有馬利用委員長より挨拶があった。

3. 前回議事録の承認

杉本庶務幹事より 1 月 10 日に、柏の葉カンファレンスセンターで行われた平成 27 年度第 3 回評議員会の議事録(案)について示され、承認された。

4. 平成 27 年度の SPRUC 活動報告

4.1 分野融合型研究グループの活動報告

- ・「ナノデバイス科学」の活動について、これまでに 2 回の研究会が開催され、第 3 回の研究会が 8/17 に予定されている旨、原田委員より報告された。
- ・「実用」の活動について、これまでに準備会と 1 回のワークショップが執りおこなわれ、今回は、主に固液界面を対象とした活動を行ったことが、高尾幹事より報告された。

4.2 平成 27 年度決算(久保田 H27 年度会計幹事)

- ・SPring-8 シンポジウム 2015 の予算と実績、および、平成 27 年度 SPring-8 ユーザー協同体の予算・決算報告がなされた。

- ・研究会開催予算案に対して支出を低く抑えられ、その結果、支出計が 360 万円程度となった旨報告がなされた。

5. 第3期研究会について。

杉本庶務幹事より、研究会の申請実績が報告された。ほとんどが継続申請で、3件の新研究会が申請された。新研究会の内訳は、新設の「コヒーレント X 線物質科学研究会」、高分子科学研究会と高分子薄膜・表面研究会が統合した「高分子構造科学研究会」、および、革新的分子集積マテリアル研究会と軟 X 線による実環境下反応その場計測研究会が統合した「放射光を用いたその場計測研究会」である。なお、統合の申請の場合、研究会登録メンバーはそのままスライド登録されることが確認された。

- ・(委員) 研究会の全体予算が 137 万円となると 1 研究会あたり 5~10 万円だが、これで十分活動ができていないか。JASRI の予算も厳しいようだが、予算不足ということはないか。
- (高原監事、中川会長、杉本幹事) 主に旅費の出費対象になっているのが講演者であり、参加者全員が対象ではないこと、および学会や SPring-8 シンポジウム等の行事の前後に研究会を設定することにより、参加者の出費を抑える努力・工夫をしているため、現時点では、不満の声は聞こえてきていないと思われる。

以上、第3期研究会の事案について承認された。

6. SPring-8 シンポジウム 2016 について。(西堀行事幹事)

2016 年 8 月 29 日および 30 日に、関西学院大学にて行われる旨(前回評議員会で承認済)、報告があった。また、SPRUC 2016 Young Scientist Award についての趣旨説明と、予定についての説明および、シンポジウム予算案について説明がなされた。

- ・(杉本幹事より) SPRUC 2016 Young Scientist Award の対象について、個人「会員」に限らなくてよいのではないかという意見もあったが、帰属意識をもってもらうためにも個人「会員」とすることで決定した経緯が補足された。この後、組織委員会が開かれる旨伝えられた。
- ・(委員) 「SPring-8 を利活用し」、とあるので、SPring-8 ユーザー(SPRUC 会員)を対象とするのが良い。

以上、SPring-8 シンポジウム 2016 に関わる企画と予算案について承認された。

7. H28 年度 SPRUC 活動計画と予算案について。

7.1 活動計画について

- ・本日の評議員会に先立って行われた SPRUC 会長-JASRI 理事長相互報告会について、高原前会長より報告が行われた。「SPring-8 の利活用促進および成果創出の最大化に資する動向調査の報告書」を提出し、今後の SPring-8 の次期計画などの運営に活用していきたい旨意見をいただいた。また、昨年度の決算報告を行い、今年度も引き続き協力金をお願い

いした旨報告があった。

- ・ 杉本幹事より、今後の活動について以下の説明がなされた。
 - ・ 本日の評議員会の後、SPring-8 シンポジウム 2016 の組織委員会が行われ、5月下旬にプログラム委員会と実行委員会、5月24日が、YSAの募集締切、5月26日が新分野創成利用課題応募締切、7月初旬YSA受賞者決定、8月のSPring-8 シンポジウム 2016 において受賞講演、受賞式を予定、その際、総会と第2回評議員会を予定。12月に評議員選挙、翌年1月に第3回評議員会と特別総会、3月に各研究会からの動向調査の取り纏めを行い、理研およびJASRIに提出予定であるとのこと。
 - ・ 分野融合型研究グループ(ナノデバイス科学、分子機能性材料、原子分子生命科学、実用)の活動計画が示された。
 - ・ 企画委員会について。
 - ・ 放射光科学将来ビジョン作業部会では、H26年度に放射光科学将来ビジョン白書を提出し、活動は完了した。
 - ・ 研究会活性化を目的として設置した研究会組織検討作業部会では、新しい研究会組織を提案し、2度のパブリックコメント募集やワークショップの開催を行い、現在の分野融合型研究グループ設置の基礎となっている。
 - ・ 若手育成については、H26年度に大学院連合作業部会を立ち上げたが、文科省の動向を鑑み、現在一時休止の状態になっていること。一方で、SPring-8 夏の学校と連携して、若手育成に向けての活動を行う予定である旨説明があった。

7.2. 平成 28 年度予算案(加藤会計幹事)

研究会活動の活発化に対応するよう当該予算が増大した以外は、ほぼ例年通りの計画で、利用者懇談会からの繰り越し予算を取り崩すことなく、執行できる予算案である旨説明があり、承認された。

8. 代表機関の追加ならびに代表機関に関する会則の変更について。

8.1 代表機関の追加について

評議員会として、次の総会で、以下の2件追加の推薦を行うことが提案された。

- ・ 量子科学技術研究開発機構を新たに推薦する。(日本原子力研究開発機構の組織改編に伴う変更。)
- ・ 東北大学を推薦する。(4番目に多いユーザー数をもつにもかかわらず、代表機関になっていなかったのは、SPRUC 創設当時、震災の影響で対応が困難であったため。)

8.2 SPRUC 会則の修正案について

代表機関と機関代表者に関する会則では、2年毎に評議員会で推薦し、総会の承認を経て選出することになっているが、臨機応変に対応するため随時変更可能になるよう、修正す

る案が提案された。

- ・以上の代表機関の追加と代表機関に関する会則の変更について承認された。次回の総会に諮り決定することとした。

9. その他

- ・(雨宮企画委員長) 今後の活動、取り組みについてのコメントがあった。
- ・(評議員) SPRUC は産業界に貢献している団体であるので、将来的には賛助会員を募ることを検討してよいのではというコメントがあった。→(幹事)将来的に検討する。
- ・(委員) 研究会の集約率について。会員 12000 名に対して 5000 名の登録。これを向上させる方法についてどのような努力がなされているか。User Information の Web サイトでのマイページへログインした後の登録画面へたどり着くまでの解りづらさの指摘があった。→(中川会長) 研究会登録を促すポスターを作成し、全 BL にてアピールすることを予定している。SPRUC の HP について改善を行うこと、および User Information の Web サイトを管理している JASRI 利用推進部も予算を鑑みながら表示方法を改善していくことが確認された。

配付資料：

資料 1: 平成 28 年度 SPring-8 ユーザー協同体(SPRUC)評議員名簿

資料 2: 平成 27 年度第 3 回 SPring-8 ユーザー協同体評議員会議事録案

資料 3: 平成 27 年度 SPRUC 研究会活動状況

資料 4: 分野融合型研究グループ活動報告

資料 5: 平成 27 年度 SPring-8 ユーザー協同体 予算・決算書

資料 6: SPRUC 第三期研究会一覧

資料 7: SPring-8 シンポジウム 2016 開催企画(草案)

資料 8: 「SPRUC 2016 Young Scientist Award」の実施について

資料 9: H28 年度 SPRUC 活動計画

資料 10: 平成 28 年度 SPring-8 ユーザー協同体 予算案

資料 11: 代表機関の追加ならびに代表機関に関する会則の変更について

以上